

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

【圏域の人口等】平成28年(2016年)10月1日現在

総人口 62,487人 / 高齢者人口 15,532人 / 高齢化率 24.86 %

【圏域の特徴】

万博と共に開発された千里ニュータウンが50年を超え、同世代の住民の高齢化と建物の老朽化を迎えており、住居の建て替えなどで住まいやコミュニティに変化が出てきている圏域です。

センターの取組方針や特徴

「地域包括ケアシステム構築」を目指し、ネットワークの構築や住民主体の活動が行えるようにサポートしています。

地域ケア会議(高齢部会)から「もっと身近な場所に集まる場所を」等の声を受け、圏域内の介護保険事業所や医療機関も地元意識を持ち活動していこうと促し、地域の高齢者の居場所づくり、活動の場づくりとして、「ほっとせんにん生き活きロード」という介護予防に資する健康教室を開催しています。

また、地域連携のため、病院や事業所に対して、地域支援事業への参画を促し、地域サロンへの専門職派遣へとつなげています。

ケアマネージャー向けに「自立支援型プラン」の模擬地域ケア会議を開催し、専門職の意識改革に取り組んでいます。

主任ケアマネージャーが活躍できるような取り組みとして、今年度は主任ケアマネージャーと連携して研修企画を行っています。

総評

介護と医療の連携を軸に地域での取り組みを重点的に進めています。職員のスキルアップのための取組(研修計画の策定、研修内容の共有、記録の保管等)について、不十分な点が見受けられましたので、今後さらなる取組が望まれます。

好事例

○地域住民に対するセンターの周知について、SNSを活用し、センターの活動内容について発信しており、更新が頻繁で情報もたくさん掲載しています。

○介護関係者と医療機関との連携について、地域ケア会議には医師や看護師、理学療法士なども参加し、多職種連携に取り組んでいます。